

最近の昇降機国内納入事例

羽坂佳穂里*

Latest Supply Record of Mitsubishi Elevators and Escalators in Domestic Market

Kahori Hasaka

要 旨

最近、“住友不動産麻布十番ビル”“中之島フェスティバルタワー・ウエスト”“御園座タワー”など、それぞれの地域のランドマークとなる大規模物件が相次いで竣工(しゅんこう)した。近年の昇降機は、縦の移動手段としてだけではなく、建築コンセプトに基づいて、一体となった高いレベルのデザイン性や機能性が要求されている。

東京・麻布十番に竣工した“住友不動産麻布十番ビル”は、デザイン性と機能性を兼ね備えたオフィスビルで、エレベーターのかご室・乗場はブラックカラーステンレスヘアライン仕上げを基調とした意匠によって落ち着いた雰囲気を演出している。

大阪・中之島に誕生したフェスティバルシティの超高層ツインタワーのうち“中之島フェスティバルタワー・ウエスト”内に入る最高級ホテル“コンラッド大阪”のエレベーターでは、ブラックカラーステンレスを多用し、最高級ホテルにふさわしい重厚感を醸し出している。また、かご室内には調光可能な4パターンの照明を用意しホテル側での演出を可能にしている。

愛知・名古屋に竣工した“御園座タワー”の劇場用エレベーターでは、ホール・ロビーにも使用されている“御園座レッド”と呼ばれる朱色をかご室に採用し、劇場全体の一体感を高めている。



住友不動産麻布十番ビル



中之島フェスティバルタワー・ウエスト



御園座タワー

最近竣工した代表的な昇降機国内納入事例

国内の最近竣工したモニュメンタルビルへの昇降機納入事例を示す。近年、昇降機は縦の移動手段としてだけではなく、建築のコンセプトに合わせたデザイン性や機能性が求められている。

1. ま え が き

最近，“住友不動産麻布十番ビル”“中之島フェスティバルタワー・ウエスト”“御園座タワー”など、それぞれの地域のランドマークとなる大規模物件が相次いで竣工した。近年の昇降機は、縦の移動手段としてだけでなく、建築コンセプトに基づいて、一体となった高いレベルのデザイン性や機能性が要求されている。

本稿では最近のモニュメンタルビル及びそれらのビルに三菱電機が納入した昇降機設備の主な特長について述べる。

2. 住友不動産麻布十番ビル

2.1 建 物

住友不動産麻布十番ビルは、国際的なビジネス、商業集積地である六本木に隣接しながら、喧騒(けんそう)から離れ歴史の趣や文化、豊かな緑も感じられる地に誕生した(図1)。

外観は、各階層部分に幅の異なるくさび型の庇(ひさし)を張り出すことによって、不整形の連続という特徴的な意匠であり、天候、時刻などで様々な表情に変化するデザインとなっている。また、張り出した庇は風の吹きおろしを軽減し、周辺環境にも配慮している。

建物内は、都心最大級の1フロア約1,300坪の賃室を“整形無柱”空間とし、高いレイアウト効率を追求している。また、免震構造を採用し、万が一の事故、災害に備え、バックアップ設備によって停電リスクを回避している。さらに、エレベーター自動回復旧システムの採用や各階に防災備蓄倉庫を設けるなど、BCP(Business Continuity Plan)対応に優れた最新設備で、入居テナントの事業継続を支える環境を整えている。



図1. 住友不動産麻布十番ビル

2.2 昇降機設備

昇降機設備は、乗用10台、人荷用2台の計12台のエレベーターが設置されている。

乗場意匠は、全階床の三方枠・扉をブラックカラーステンレスヘアライン仕上げで統一し、落ち着いた雰囲気を演出している。1階のホールランタンにはエントランスの高い天井と調和した大形で特徴的なものを採用し(図2)、他階では透明アクリルに乳白色アクリルを組み合わせ、利用者が運転方向を一目で判断しやすい視認性とデザイン性を



図2. 1階エントランス

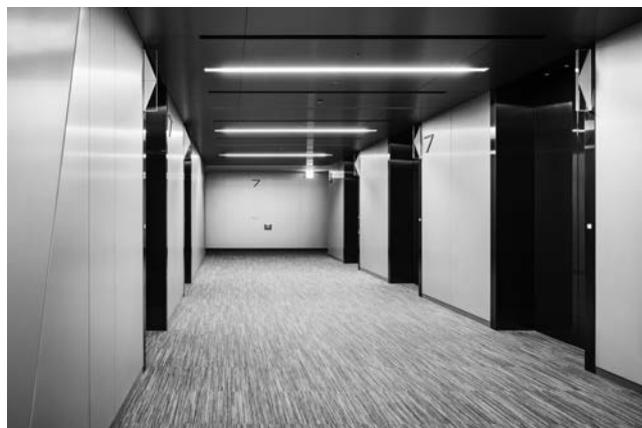


図3. 7階乗場



図4. かが室

兼ね備えたものとなっている(図3)。

かご室内意匠は、ブラックカラーステンレスヘアライン仕上げを基調とし、壁の一部にはアルミ素地削り出しに塗装を施したアルミ塗装仕上げを採用している。これが、天井の間接照明とダウンライトの光源によって、立体的に見えるデザインとなり、落ち着いた上質な空間の中で印象的なポイントとなっている(図4)。

また、かご室内壁の一部に採用したアルミ塗装仕上げとエレベーターホール床の色彩に統一感を持たせることで、エレベーターと建物が一体となったデザインとしている。

3. 中之島フェスティバルタワー・ウエスト (コンラッド大阪)

3.1 建 物

水都・大阪のシンボルアイランドといわれる中之島に、“中之島フェスティバルタワー・ウエスト”が完成した(図5)。2012年に完成・開業した“中之島フェスティバルタワー”(東棟)とともに超高層ツインタワーとなり、新たな街のランドマーク“フェスティバルシティ”が誕生した。

中之島フェスティバルタワー・ウエストは、地下4階、地上41階で構成されており、店舗や美術館、オフィスと最高級ホテル“コンラッド大阪”からなる複合施設である。



図5. 中之島フェスティバルタワー・ウエスト



図6. シャトルエレベーターの40階乗場

“コンラッド大阪”は、モダンデザインに和のテイストを取り入れた佇(たたず)まいの空間で、“Your Address in the Sky”をコンセプトとし、全てのパブリックスペース、全客室、及びスイートルームからは、息をのむような大阪のパノラマビューを一望できる。また、館内のインテリアとして、全389点のコンテンポラリーテイストと和の伝統が融合したアート作品がちりばめられているなど、“スマート・ラグジュアリーホテル”を体感できる。

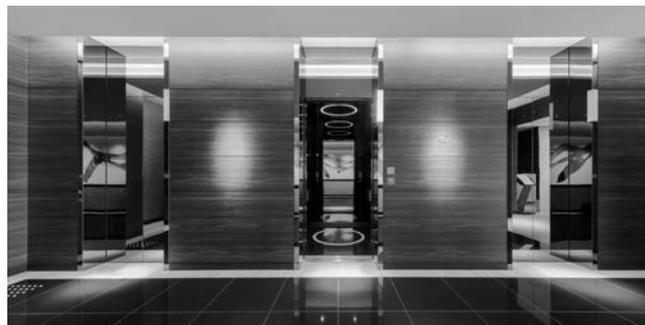


図7. 客室階用エレベーターの40階乗場



図8. シャトルエレベーターのかご室



図9. 客室階用エレベーターのかご室

3.2 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター33台、エスカレーター13台が設置されており、そのうち当社はホテル用、駅連絡用、非常用等のエレベーター15台を納入した。

ホテル用エレベーターは、最上階の40階にあるホテルロビーへ直行するシャトルエレベーターが3台、ホテル客室階(33~40階)用エレベーターの3台、従業員用のエレベーターとして3台の計9台を納入している。

かご室・乗場の意匠にはブラックカラーステンレスを多用し、最高級ホテルにふさわしい重厚感を醸し出している(図6, 図7)。

また、かご室内には調光可能な4パターンの照明を用意し、イベントや四季折々の雰囲気に合わせてホテル側での演出を可能にしている(図8)。かご操作盤の行き先ボタンは二重照光ボタン(常時行き先階名が点灯、登録時ボタン枠が点灯)を採用し、かご内が暗くても行き先ボタンが一目で分かるよう配慮している(図9)。

4. 御園座タワー

4.1 建 物

1896年に開業し、名古屋の演劇文化の発展を担ってきた歌舞伎劇場“御園座”が建て替えられ、御園座タワーが誕生した(図10)。

御園座タワーは、建築家の隈研吾氏監修のもと、名古屋の歴史と文化を継承しながら、バリアフリー化や災害時の地域支援協力など新たな視点を加え、“御園座”と商業施設、分譲マンション“グランドメゾン御園座タワー”からなる複合施設となっている。

劇場部分となる1~4階の建物外装には“なまこ壁”のデザインを取り入れ、御園座のイメージを踏襲しながら、周辺の景観に配慮して設計されている。

4.2 昇降機設備

昇降機設備は、劇場用に5台、分譲マンション“グランドメゾン御園座タワー”部分に10台の計15台のエレベーターを納入している。

劇場用エレベーターには、御園座の基調色である“御園座レッド”と呼ばれる朱色をかご室に採用したエレベーターを2台納入している。この朱色はホール、ロビー内だけでなく、エントランスや歩道まで広がっており、劇場内の一体感だけでなく、劇場の雰囲気を外に持ち出すことによって“御園座”の空間と都市がつながって周辺環境にぎわいをもたらしている(図11, 図12)。

5. む す び

最近のモニュメンタルビルと、それらのビルに当社が納入した昇降機設備の特長について述べた。今後も、昇降機が縦の移動手段としての能力向上はもちろんのこと、多様



図10. 御園座タワー



図11. 劇場用エレベーターのかご室



図12. 劇場用エレベーターの乗場

化する利用目的に合った高度なデザイン性や機能性を持つ昇降機を提案できるよう努めていく。

参 考 文 献

- (1) 鈴木恭之：三菱昇降機国内納入事例，三菱電機技報，91，No.3，179~183 (2017)